



小規模多機能ここさいむら泉中央
管理者・統括マネージャー／課長

野 郷 豊 弘

現在、小規模多機能ここさいむら泉中央の管理者、併せて泉地区・フォルテデイサービスの統括マネージャーとして活躍している野郷豊弘は、実業団のバスケットボール選手を経て石油会社社員へ、そしてその後介護の世界に足を踏み入れたという、異色の経歴を持つ。野郷が介護業界に挑戦しようと思ったきっかけは何だったのか。また、今後どのようなチャレンジを思い描いているのか、詳しく話を聞いた。

整った環境から生まれる 心地良さ

大学を卒業後、バスケットボールの実業団で8年間プレーしていた野郷。30代突入を節目に選手生活から引退した後は、母体企業である石油会社で働いていた。ここでは、ガソリンスタンドに向き、接客や、来店された方が心地良いと感じる店づくりについて指導する役割を担当。お客様をお迎えするに相応しい店舗づくりを目指し、店内の清掃や物品の管理方法を現場スタッフに指南するため、お客様目線での店

舗管理について学ぶ研修も受けていた。そのころの経験は、介護職に従事してからも非常に役に立っているという。来所される方の目線で施設を見たときに、清潔感を感じられるか。ひいては「ここを利用したい」と思ってもらえるかという視点を持つと、自ずと片づけるべきものや掃除をすべき場所が見えてくるのだ。ガソリンスタンドと介護施設では全く異なるように思えるが、環境を整えることの大切さに、変わりはないのである。



実業団のバスケットボール選手をしていた頃

異業種への挑戦には 母の影響が

介護業界への転職のきっかけは、偶然に過ぎなかった。より楽しくやりがいのある仕事がしたいと転職を考え、ハローワークに足を運んだ際、失業給付金付きで取得できる資格の一覧にホームヘルパー1級（現・介護福祉士実務者研修）を見つけたのだ。いくつかある資格のなかで、ヘルパー1級を選んだことに、深い理由はなかったという。ただ、今になって思い返すと、その選択には介護職に就いていた母親の影響があったのだろうと考えている。大学とき、帰省した際に見た、介護福祉士の資格取得に向け分厚い本を何冊も読んでいた母の姿。そして、「介護職は力仕事だから男手が欠かせない」と語っていた母の言葉。「そういった出来事が自然と心の内に積み重なり、無意識のうちはこの業界に興味を持っていったのだと思います」と語る野郷。2002年（平成14年）からは有料老人ホームに勤務し、ホーム長やマネージャーなど、主に管理職として17年の月日を過ごした。



業務中の様子

管理者がスーパーマンである必要はない

前職の経験のなかで、今でも忘れられない出来事がある。転職から2年目、ホーム長に就任したばかりのころのことだ。当時は若さも手伝って、「施設のトップたるもの、すべてを把握し、すべてに対して答えを持ち、すべてを一人で完結できなければならない」と考えていた。そこで、誰にも相談をせずに休日も働き、情報を抱え込み、必死で理想のリーダー像を体現しているつもりになっていた。ところが、ある日職員から言われ

複合的なサービスの提供を目指して

泉地区を統括している今、目標としているのは、泉区に暮らす方々が最後までここで過ごせるサービス体系を作り上げることだ。核となる住み家（ホーム）を作って生活の安全を確保したうえで、訪問看護やデイサービスなどを立ち上げ、1か所で複合的にサービスを賄える環境を整えた

たのは「私たちのことを信用していないのですか」という言葉。情報を共有してくれないし、相談もない。まったく仕事を任せてくれないと言われたときの衝撃は、今でも鮮明に覚えている。

「私たちは何のためにいるのか、と思わせてしまったのだと思えます」と語る野郷。職員の言葉で目が覚め、以来、早めの相談や役割分担を意識するようになった。そしてその結果、職場の風通しが良くなっただけでなく、自分自身も身動きが取りやすくなったのだという。今思えばあの一件は、失敗ではあるが自身の成長に欠かせない出来事だったと思っている。



野球チームとの一枚

野郷課長ってどんな人？

今回は野郷課長をよく知る3人が、その魅力と凄さについてたっぷりご紹介してくれました。周囲から信頼され、唯一無二の存在だと慕われる野郷課長に、あなたも魅了されること間違いなし！

Q1. 野郷課長を一言で表すと？

博覧強記

Q2. 野郷課長の「すごいところ」を教えてください！

質問したこと以上の答えを返してくださるところがすごいと思っています。また、どんなに忙しくても、時間を作り、話を聞いてくださいます。野郷課長から教えていただいた「相手の話を最後までよく聞くこと」は私も大切にしていることの1つです。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

私がリーダーに就いた当初、悩むことが多かったのですが、そ私がリーダーに就いた当初、悩むことが多かったのですが、そのたびに相談に乗ってくださいました。アドバイスをくださり、自分がどのように行動すれば良いかが分かりました。「明日も頑張ろう！」と思えたことを覚えています。現場では、入浴業務と一緒に汗が止まらなかったこともありましたが(笑)



ここさいむら泉
管理者
さかわ ともえ
佐川 智恵さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつも優しく、ときには面白く、働くことの楽しさを教えてくださいありがとうございます。また困ったときに相談に乗ってくださり、とても心強く思います。ご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、これからもよろしくお願いします。

Q1. 野郷課長を一言で表すと？

優しさと厳しさを併せ持っている！

Q2. 野郷課長の「すごいところ」を教えてください！

フォルテデイサービス
管理者
ふるやま やすひで
古山 恭秀さん

どうしたら良いか分からないときや、迷ったときに、根拠を明確にして一貫性のあるアドバイスをくださいます。その「間違いない」と思えるアドバイスには、精神的にも助けをいただいています。知識と経験の豊富さとブレない姿がすごいところだと思います。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

利用者様のご家族との話し合いがうまくいかず、落ち込んでいたときに送っていただいたLINEの一言は忘れませんが、野郷課長にとっては何気ない一言だったかもしれませんが、今でも私の支えになっています！

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

お忙しいなか、毎週大河原まで来てくださってありがとうございます。利用者様、野郷課長、職員みんなが、フォルテデイサービスに来ることが楽しみになるような事業所にしていきます！今後もよろしくお願いします。

Q1. 野郷課長を一言で表すと？

アクティブ

Q2. 野郷課長の「すごいところ」を教えてください！

豊富な知識と経験で、いつもさまざまな方面に目を向けています。日々たくさんの業務を一つひとつ着実にこなしていくところが素晴らしいと思います。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

業務中に困ったことや分からないことを質問したときに、すぐその場で明確な答えを返してくださいました。野郷課長のおかげで、スムーズに業務を遂行することができました。



ここさいむら泉中央
事務職員
ささき ちえみ
佐々木 智江美さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつも色々と助けていただき、ありがとうございます。より一層、成長できるように頑張りますので、これからもご指導よろしくお願いします。



COCOMI
ここさいむら泉中央

笑顔を作る

賞賛・承認大作戦

通信
vol.7

皆さんの投稿・投票によって行っているこの企画！今回は新たに誕生した小田原庭園を詳しくご紹介！
「今までやっていなかったことへの挑戦」というテーマのもと、農業への取り組みが始まったとお話。
野菜や花だけではなく、スタッフとお客様の絆も育てる空間へと変貌していました！

小田原デイサービスの空きスペースを利用して、 このたび小田原庭園がオープンしました！

坂本管理者から助言をいただき、プランターでトマトや枝豆、紫蘇、きゅうりを栽培することとなりました。



まずは苗を準備し植え込み



植える前に土をよく湿らせる



水やりは欠かさずに！



投稿者



ここさいむら小田原
ちば しげき
千葉 繁樹さん
投稿日：2023.6.2

全て一からの農作業で不安もありましたが、内海さん、佐藤さん、萩原さんを中心に積極的に準備に協力してくださり、なんとか形にすることができたと思います。皆さんご協力ありがとうございました！皆さんの存在が心強く、とても助かりました！当初の様子はと言うと、まず田口さんに苗

を準備していただき、植え込みを実施。植える際にはお客様にもお手伝いいただいたのですが、皆さん笑顔で協力してくださいました。そして、「花も育ててみたい」というお客様のリクエストも受諾！夏に向けて朝顔の育成も並行して行いました。

ツタを絡ませる
ネットを用意！



収穫したきゅうり、紫蘇、トマトはおいしくいただきました！

お客様にも
水やりをお手伝い
いただいています！



多くのご助言・
ご協力を
いただきました



浅漬け作りもみなさん一緒に



また、野菜やお花への水やりも、スタッフとお客様で積極的に行っています。「早く野菜ならいかな」「朝顔は押し花にしてもいいよね」と談笑しながら、植物の成長を全員で見守っている最中です！

千葉さんに投稿内容について詳しく教えてもらいました！

今回の企画について、工夫した点など詳細を教えてください！

小田原庭園スタートの経緯

2023年春頃から準備を始めました。楽しいデイサービスを実現するにあたって、「新しい分野にチャレンジしよう！」という話になり、庭園および野菜作りに着手した次第です。

野菜栽培へのこだわり

完全無農業という点もこだわりの一つではありますが、スタッフおよびお客様全員参加による一体感を意識しています。最大の目標は、みんなで育て、みんなで食べること。実は一部の野菜はすでに収穫済みです。きゅうりやトマト・紫蘇を浅漬けにして、皆さんで美味しくいただきました！



スタッフ・お客様が全員参加！

一緒に働く皆さんへメッセージ

とにかく収穫量を増やすために、あらゆる媒体で学んできました。しかし、知識を教えてくれる皆さんがいなければ、ここまでうまく育てられなかったと思います。この成功は皆さんのおかげです！心から感謝しています！



みなさまご協力ありがとうございました！

私の事業所のココが自慢!

2023年4月から訪問看護ステーションSoraの管理者に就任したばかりの板橋係長。
今回はSoraの魅力についてたっぷり聞かせていただきました!
「小児と精神」で有名なSoraに迫ります。



私が紹介
します!

訪問看護ステーションSora
管理者/係長
いたばし やすこ
板橋 靖子さん

01 「訪問看護ステーションSora」 ってこんなところ!

連絡連携を重視!患者さまの信頼も厚い

メンバーは、看護師が常勤と非常勤合わせて8人、リハビリ対応の職員が7人、事務が1人の計16人です。

患者さまのご自宅に訪問して、健康状態の観察をはじめ、自宅で生活するうえでの困りごとの相談を受けたり、アドバイスしたりします。また、点滴や注射、傷の手当て、薬の管理、自宅でのリハビリ対応も行います。なかには最期を自宅で迎えたいという希望の患者さまへの対応もしています。一番大事なのは医師やケアマネジャーの方との連絡連携です。患者さまの体調が悪くときには医師への電話報告をし、急ぎのものであればFAXでの報告も。今はスマートフォンを使用して連携をしている医師もいるので、画像を送って診ていただくこともあります。



02 ココが自慢!

小児と精神のSora

4月から管理者として従事させてもらっていますが、それまでもSoraの噂を良く耳にしていました。それというのが小児や精神疾患の患者さまにも力を入れていて、確かな技術力と専門的な知識、加えて観察力を兼ね備えたスタッフが勤務しているということでした。実際に働き始めてみると小児の症例数も多く、精神疾患のある患者さまも多くいらっしゃり、Soraの特徴であり、強みだと実感しています。こうした患者さまに対応するため、スタッフ全員に共通して言えるのが、少しの変化にも敏感だということです。何かあれば、すぐにスタッフで共有しているとのこと、しっかりと対応できているのだと思います。

03 「他事業所には負けなし!!」 その魅力

何事にも真摯に取り組む姿勢

20代~30代の比較的若いスタッフを中心とした事業所ですが、とても礼儀正しく、利用者さまへの接し方も優しく、本物のプロフェッショナルだと感じます。一人ひとりに合わせた対応を全員が心がけているからか、利用者さまからお喜びの声をいただくことはもちろんですが、ご家族から褒めていただくことも度々あります。また毎週木曜日の全体ミーティングのあとは全員で掃除をするのですが、性別年齢関係なく、皆さんとても一生懸命やっていて感心しています。

事業所をいつも綺麗に整理整頓された状態を保っているので仕事もしやすいなど感じます。



04 今後の目標

Soraらしさをさらに生かした事業所へ

引き続き、Soraと言えば小児、精神と言われる強みを活かした事業所にしていきたいと思っています。まだまだこの分野では、私自身からないことも多いので、皆さんに教えてもらい、高め合っていけたらと考えています。

05 一緒に働く 皆さんのメッセージ

4月に管理者が変わり、戸惑いもまだあると思います。前任者の笹原さんが築いてくれたSoraを継承しつつ、盛り上げていきたいと思っています。ぜひ皆さんの力と熱いハートと一緒に頑張っていきましょう!



この失敗から学んだ! 私の教訓・克服したこと

失敗は誰にでもあるもの。大切なのは、そこから何を学ぶかではないでしょうか。「失敗は成功のもと」と言います。同じことを繰り返さないために、教訓として意識していることも教えてもらいました。

過去の失敗

請求書と領収書の発送先を間違えてしまった

利用者様へ発送した請求書と領収書に違う方のものが入っていた、と連絡があったのは入社1年目のとき。すぐに当時の管理者に回収してもらいました。お客様にも事業所の管理者にも迷惑をかけたことがあります。

失敗から得た教訓

発送業務を行う際は二重チェックを怠らない!

発送業務の際は1件ずつ確認して封入し、封筒の糊付け前にも間違いがないか二重チェックをしてから封函するようになりました。現在、発送業務はほぼ外注化していますが、一部の方には手作業で発送しています。そのため二重チェックは欠かせません。さらに切手不足にならないよう、郵便局窓口から発送するようにしています。



総務課経理係
さかもと けいこ
坂本 恵子さん

社員の皆さんへのアドバイス

失敗を最小限にするために、事前にリスクヘッジし、業務の流れを考えることが大切だと思います。

過去の失敗

実態を把握せず、自分のペースで介護をしてしまっていた

入社3年目にグループホームに配属されました。異動当初は余裕がなく、自分のペースで介護してしまうことも。また利用者様の雰囲気から、私のなかで勝手に人物像を作り上げてしまうこともありました。

失敗から得た教訓

雰囲気判断せず、利用者様に向き合うことが大切!

利用者様への対応は一朝一夕ではいきません。じっくり向き合い気持ちを少しでも汲み取ることで、こちらの気持ちを伝えることなど、かわり方を変えていきました。今では雰囲気判断することなく、積極的にコミュニケーションがとれるようになってきたと思います。

グループホーム
ここさいむら泉中央
さいとう のりえ
斎藤 法絵さん



社員の皆さんへのアドバイス

私は色々失敗してしまうことが多いのですが、他のスタッフの方々に助けをもらいながら頑張っています。利用者様だけでなく、スタッフともコミュニケーションをとることを大切にしてみてください。

過去の失敗

コインパーキングに停車してドアを開けたとき、突風に押されてドアが隣の車に当たってしまいました。

失敗から得た教訓

可能な限り、両隣に車がない場所を選んで駐車するようになりました。



ここみ訪問
マッサージ仙台
たかしみず ひなこ
高清水 日子さん

社員の皆さんへのアドバイス

停車してからも安全運転の意識は必要です!

過去の失敗

必要な連絡をし忘れてしまった

入社から半年ほど経った頃、利用者様の入所予定日が変更になると電話連絡を受けました。しかし、その旨を当日まで管理者や相談員に伝えるのを忘れてしまったことがあります。

失敗から得た教訓

重要な伝達事項は後回しにせず、すぐに共有することが大事

利用者様との信頼関係にかかわる伝達事項は、メモを残して確実に申し送りをするよう行動を変えました。また重要な内容は後回しにしないこと。その場で情報共有することが大切だと学びました。

ショートステイ
ここさいむら小田原
やまぐち あきら
山口 彬さん



社員の皆さんへのアドバイス

介護現場では利用者様の状態に関する情報の伝達・共有が大切です。利用者様の信頼につながる情報は特に「報・連・相」が必要だと感じています。